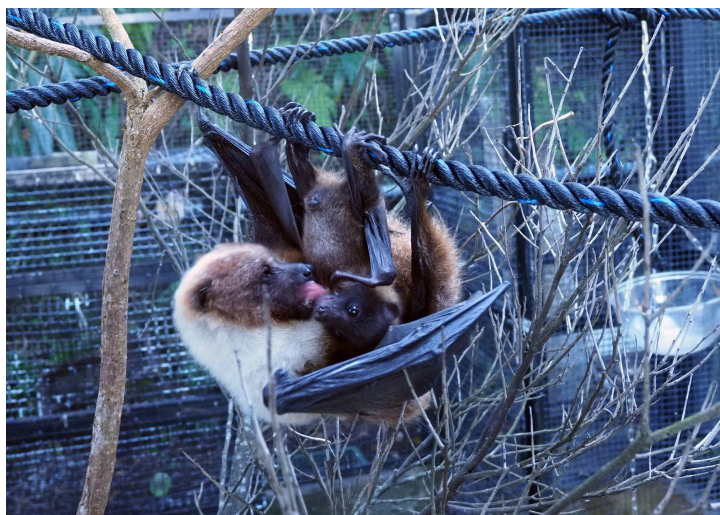




JTA・RACが輸送協力した個体から新しい命が誕生
国指定天然記念物「ダイトウオオコウモリ」の飼育下繁殖成功について
～関係機関の技術と航空網の連携が生んだ救護ネットワークの成果～

日本トランスオーシャン航空株式会社(本社:沖縄県那覇市、代表取締役社長:堀尾 裕子、以下「JTA」)および琉球エアコミューター株式会社(本社:沖縄県那覇市、代表取締役社長:山田 賢哉、以下「RAC」)は、沖縄県をはじめとする関係機関との連携のもと、離島で発生した傷病鳥獣(希少野生動物)の迅速な航空輸送協力に取り組んでおります。このたび、2017年に南大東島で保護され、RAC機にて沖縄本島へ輸送協力を行った国指定天然記念物「ダイトウオオコウモリ」の傷病個体(母親)について、2026年、移送先の公益財団法人 沖縄こどもの国にて飼育下繁殖(世界2例目(*1))および世界初となる出産映像の記録に成功いたしましたのでお知らせいたします。



飼育下での繁殖・育成に成功したダイトウオオコウモリの親子 (写真提供:公益財団法人 沖縄こどもの国)

■ 各機関の役割と実施内容

本件は、地域住民・行政・専門医療・飼育施設・助成財団・航空会社といった多様な主体がそれぞれの強みを活かし、救護から治療、飼育・繁殖に至るまでリレー形式で命をつないだ連携の成果です。

- JTA・RAC(当社グループ)の役割:南大東島で保護された傷病個体を、沖縄県と連携しRAC路線にて南大東空港から那覇空港へ迅速に航空輸送。
- 地域・行政(島民・南大東村教育委員会・沖縄県):現地での傷病個体の発見・保護および移送手配。
- 専門医療(野生動物救護獣医師):高度な野生動物医療による治療。
- 飼育・繁殖(公益財団法人 沖縄こどもの国):適切な環境下での飼育管理、ペアリング、出産・育成、および世界初の出産映像記録。
- 施設整備支援(公益財団法人 JAC環境動物保護財団):助成事業による専用飼育・展示施設の整備支援。



■ 繁殖成功に至る経過

- 2017年【保護と緊急輸送】：南大東島で傷病個体が保護され、沖縄県との連携のもとRAC機にて那覇へ緊急輸送。
- 2017年～【治療と移送】：野生動物救護獣医師の治療・手当を受け、回復後に「沖縄こどもの国」へ移送。
- ～2026年【飼育・展示・繁殖成功】：「JAC環境動物保護財団」の助成により飼育施設が整備され、継続展示とペアリングを開始。飼育下繁殖(世界2例目)および出産の映像記録(世界初)に成功。

■ 今後の取り組み(結∞ACTION)

JTA・RACでは、「想いを結。未来を結。」をスローガンとして地域貢献活動「結∞ACTION」のもと、沖縄の豊かな生物多様性を守る活動を推進しています。本年3月には環境省沖縄奄美自然環境事務所と「野生動物の傷病救護個体等における搬送の協力に関する協定」を締結し、土・日・祝日を問わない365日体制へと救護・野生復帰の輸送体制を強化いたしました。

今後も地域の皆さまや関係機関と手を携え、沖縄の大切な自然環境と希少な野生動物の命を未来へつなぐ持続可能な保護活動に貢献してまいります。

(*1) 2024年に沖縄こどもの国で達成された世界初の事例に続く2例目。

(*2) 環境省とJTA・RAC、「野生動物の傷病救護個体等における搬送の協力に関する協定」を締結

<https://jta-okinawa.com/pressrelease/20260323/>

以上



想いを結。未来へ結。

結 ∞ ACTION